

## 令和2年度 体育 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ 駅伝のタイムが昨年度まで毎年記録を更新していることから、体力面で一定の成果があった。
- ・ 態度面では、学習への参加意欲や技能の高まりを目指す向上心において、積極性が見られた。

#### (2) 課題

- ・ 児童一人一人が、毎時間、自分に合った学習のめあてをもって運動に取り組むことや、そのための授業中の工夫に課題が見られる。
- ・ 自分の学習のめあてをもつと同時に、学習の見通しをもって取り組むことや、そのための授業の工夫に課題が見られる。(見通し：自分には今何が身に付いていて、これから何を身に付けるために、どのような方法で学習するのかということ)

### 2 授業の課題分析

#### ① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動のこつを言葉で説明できる児童が多い。</li> <li>・ 教師が教えるこつは聞くが、上手な友達にこつを聞きに行く児童は少ない。</li> <li>・ スキップや短縄跳び等の基本的な動き、運動が苦手な児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりのめあてをもって運動に取り組んでいる児童もいる。</li> <li>・ 苦手なことに対して、自分で目標を設定できない児童もいる。上達できない理由を探す前に諦めてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの児童が向上心を持ち、意欲的に運動に取り組んでいる。</li> <li>・ 苦手なことには取り組もうとしない児童もいる。</li> </ul>

#### ② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の体を操作する運動に関しての能力差が大きい。</li> <li>・ 投げたり、回ったりする動きのポイントを理解していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人技能でも団体技能でも、常に自己のめあてをもって取り組めていない。</li> <li>・ 自分に合った練習の場を正しく選ぶことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、2度取り組んでみて、できないとすぐに苦手意識をもち、チャレンジしようとする意欲をなくしてしまう児童がいる。</li> </ul>

#### ③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具を操作する運動についての技能が十分に身に付いていない。</li> <li>・ それぞれの運動の技能ポイントの理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 器械運動系における自己の課題を把握できないため、めあてをもつことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手なものにチャレンジしようとする意欲が低い。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の行い方や上達した理由を説明させたり、ワークシートに記述させたりする。</li> <li>・準備運動と共に、単元に合わせた補助運動・補強運動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の導入、終末時に、学習のめあてと自分自身のめあてについて確認する。</li> <li>・学習中、どうやったら運動が上達するかについて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップで運動に取り組めるよう、単元計画や場の設定を行う。</li> <li>・教師が運動の苦手な児童の課題を把握して、必要な練習方法などを示す。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・投げる・回る動きのポイントを指導したり、正しい補助をしたりしながら、技能の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをもって取り組ませることができるよう、授業のまとめで、できたことやできなかったことを振り返らせる。また、自分のめあてに合った場の選択ができるように、ペア学習やトリオ学習で取り組み、友達同士で教え合えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手なことにチャレンジしている児童をたくさん褒め、意欲を高める。</li> <li>・場の工夫をし、やってみようと思わせる工夫をする。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・短縄習慣を通して、児童の興味を引くようなカードを作製し、意欲的に取り組ませる。</li> <li>・技能に関する掲示物を作製し、技能ポイントについての理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTなどを活用し自分が技に取り組んでいる姿を客観的に見ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な児童でも取り組んでみようと思う平易な場づくりを行い、段階的に技に挑戦できるように工夫する。</li> </ul>